

（第1面）

産業廃棄物処理計画書	
令和7 年 6 月 27 日	
神戸市長 宛	
提出者	
住所 兵庫県神戸市中央区東川崎町1-2-2 HDC神戸	
氏名 株式会社アイ工務店	
阪神支社 支社長 櫻井雅樹	
電話番号 078-335-7085	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他の処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	株式会社アイ工務店 神戸西・阪神支店
事業場の所在地	兵庫県神戸市中央区東川崎町1-2-2 HDC神戸8階
計画期間	令和7年4月1日から令和8年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	建設業(総合工事業)
②事業の規模	2億3千4百万
③従業員数	60
④産業廃棄物の一連の処理の工程	工事現場 → 収集運搬 → 中間処理 → 再生資源

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図) エリア統括部長 → 建設部長 (安全管理者) → 現場監督			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①現状	【前年度 (令和 6 年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	0600 廃プラスチック類	0800 木くず
	排出量	別紙1記載 t	別紙1記載 t
	(これまでに実施した取組) 納入数量事前確認し端材を削減		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	0600 廃プラスチック類	0800 木くず
	排出量	別紙1記載 t	別紙1記載 t
	(今後実施する予定の取組) 棟数は増えますが、廃材を増やさないよう、数量の拾い出し精度を上げる。 木材プレカット項目を増やす。		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 種類別に現場支給端材袋にて分別		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 継続して分別廃棄作業を行う		

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和 6 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	0600 廃プラスチック類	0800 木くず
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	別紙1記載 t	別紙1記載 t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	0600 廃プラスチック類	0800 木くず
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	別紙1記載 t	別紙1記載 t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和 6 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	0600 廃プラスチック類	0800 木くず
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	別紙1記載 t	別紙1記載 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	別紙1記載 t	別紙1記載 t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	0600 廃プラスチック類	0800 木くず
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	別紙1記載 t	別紙1記載 t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	別紙1記載 t	別紙1記載 t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（令和 6 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	0600 廃プラスチック類	0800 木くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	別紙1記載 t	別紙1記載 t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	0600 廃プラスチック類	0800 木くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	別紙1記載 t	別紙1記載 t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（令和 6 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	0600 廃プラスチック類	0800 木くず
	全処理委託量	別紙1記載 t	別紙1記載 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		

(第5面)

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	0600 廃プラスチック類	0800 木くず
	全処理委託量	別紙1記載 t	別紙1記載 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 継続して続ける。工場加工を増やし、現場加工を減らし残材を減らす。		

(第 6 面)

備考

1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。

2 当該年度の6月30日までに提出すること。

3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

(2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

(3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

7 ※欄は記入しないこと。

別紙1(廃棄物処理法-産業廃棄物処理計画書)

現状：前年度（令和

年度）実績量

計画：今年度（令和

年度）計画量

単位:トン/年

産業廃棄物の種類	排出抑制に関する事項		自ら行う再生利用に関する事項		自ら行う中間処理に関する事項				自ら行う埋立処分等に関する事項		処理委託に関する事項									
	排出量 (前年度実績値の①)		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量 (前年度実績値の②+⑧)		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量 (前年度実績値の⑤)		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量 (前年度実績値の⑦)		自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量 (前年度実績値の③+⑨)		全処理委託量 (前年度実績値の⑩)		優良認定処理業者への処理委託量 (前年度実績値の⑪)		再生利用業者への処理委託量 (前年度実績値の⑫)		認定熱回収業者への処理委託量 (前年度実績値の⑬)		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量 (前年度実績値の⑭)	
	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画
0100燃え殻																				
0200汚泥																				
0300廃油																				
0400廃酸																				
0500廃アルカリ																				
0600廃プラスチック類	19	21											19	21						
0700紙くず	7	8																		
0800木くず	298	327											238	262						
0900繊維くず	4	5											3	3						
1000動植物性残渣																				
1100ゴムくず																				
1200金属くず	5	6											4	4						
1300ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	72	79											6	7						
1400鉱さい																				
1500がれき類	783	861																		
1600動物のふん尿																				
1700動物の死体																				
1800ばいじん																				
2020 建設系混合廃棄物(管理型含む)	448	493											448	493						
2420 ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず(石綿含有産業廃棄物)	3	3																		
2440 がれき類(石綿含有産業廃棄物)	23	26											23	25						
合計	1663	1829	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	741	815	0	0	0	0	0	0